

令和7年度第1回鳥取市総合企画委員会（4/15開催）
委員事前意見一覧

No	委員名	意見・質問	回答	担当部局
1	尾坂委員	<p>「今ある資源の活用/整備/価値の見つめ直し」</p> <p>鳥取市について、市民、特に子育て世代が最も誇りに思っているのが「海・山・川などの恵まれた自然環境」だ。評価されている割に登場回数が少ないが、これこそが地域資源であり、どう具体的に活用するかを計画に厚く盛り込みたい。</p> <p>例えば、雇用の場の確保に直結する企業誘致。SANDBOXのような自然を感じられるワーケーションの場を提供するのは勿論、都市部ではありえないロケーション/家賃の空き物件も多いので、それらをオープンにわかりやすく紹介できる体制をつくり、本格的な事業所開設を促す。（物件数、紹介企業数などの目標値を設ける。）</p> <p>また、恵まれた自然環境を概念的なものとし、日々の暮らしの中でも体感してもらうことで市民の満足度を高め、他自治体との差別化に繋げたい。そのために湖山池〇〇公園や袋川〇〇橋付近など重点箇所を定め、交通やトイレ、育児スペースやイベント出店設備などのインフラを整備していくことも必要。</p> <p>まちの特徴を見てみると、公民館の数が類似自治体と比べて際立って多い。これもまた大切な地域資源であることを認め、例えば防災や高齢者の場づくりに活用していく。これは一例に過ぎず、ポテンシャルを活かしきれてない（そもそも市民に認識されていない/十分に予算がついていない/重要施策に関わりがない、など）、もっと価値を見出せるものは少なくない。</p> <p>「地域資源の活用」はアクションプランの7つある基本目標の1つではあるが、他のベースにもなりうる。最重要キーワードの1つとし、PJ責任者を置き、市民を巻き込みながら発見/再発見～具体的な活用まで進めていければよいと考える。</p>	<p>資料2-2、6ページ「⑤市民からみたこのまち」のとおり、鳥取市について誇りに思うことの第1位に「海・山・川などの恵まれた自然環境」が挙げられているように、市民の皆さんからは、鳥取市固有の資源をいかし、鳥取市の強みを維持、発展させていくことを望む意見をいただいています。こうした意見を踏まえ、鳥取市としても、「鳥取市固有の資源が大切にされ、引き継がれ、活用されていること」を第12次鳥取市総合計画基本構想におけるまちづくりの基本的な考え方の一つとして設定したところです。</p> <p>地域資源をいかした各施策の具体的な取組については、次回以降の委員会で議題とする予定の基本計画及びアクションプランで盛り込んでいくことを予定しており、いただいたご意見を踏まえながら、検討を進めていきたいと考えます。</p> <p>また、様々な施策で地域資源の活用を図っていくことが重要であることから、アクションプランにおいて分野横断的に取り組んでいきます。</p>	企画推進部